

会議結果報告書

平成26年11月20日

会議の名称	【第4回】志木市庁舎及び市民会館複合化施設建設 庁内検討プロジェクト・チーム会議
開催日時	平成26年11月20日（木）13時00分～14時00分
開催場所	市役所4階 第3委員会室
プロジェクト・チーム出席者職氏名	[チームリーダー等] リーダー：中村新庁舎建設推進室長 サブリーダー：野口市民活動推進課長、浅見建築課長（計3人） [庁内検討プロジェクト・チームメンバー] 松永政策推進課長、尾崎人事課長、今野事務管理課長、大熊生活安全課長、村上福祉課長、園原都市計画課長、清水会計課長、渋谷上下水道総務課長、藤議会事務局次長、大河内監査委員事務局次長、竹脇教育総務課長 (計11人)
欠席者職氏名	田中財政課長（計1人）
説明職員氏名	中村新庁舎建設推進室長、浅見建築課長、田中新庁舎建設推進室主任
議題	①議題と対策の検討（防災対策についての基本方針、構造及び構法）について（資料1） ②庁内プロジェクト・チーム作業部会シートのとりまとめについて（資料2）
結果	課題と対策の検討についての資料をもとに、地震、水害等の災害時の課題、対策を把握した。基本計画策定に向けた具体的な対策について確認を行った。職員の意見が収集できたものを今後、意見の分類分けを行い、基本計画レベルの意見を抽出していく。意見の分類分けについては、今後作業責任者会議にてとりまとめていく。
事務局等氏名	山本新庁舎建設推進室主幹、田中新庁舎建設推進室主任 成田建築課主幹 (計3人)
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

中村新庁舎建設推進室長が開会を告げる。

2 あいさつ

中村新庁舎建設推進室長があいさつをする。

3 報告事項

1) 本日の議題及び進め方説明

田中新庁舎建設推進室主任から本日の議題及び進め方について説明。

2) ① 課題と対策の検討について

浅見建築課長から、10月30日の勉強会（第3回庁内検討プロジェクト・チーム会議）を踏まえて作成した課題と対策の検討について報告。

② 庁内プロジェクト・チーム作業部会作業シートのとりまとめについて

田中新庁舎建設推進室主任から作業シートのとりまとめ方針と今後の作業イメージについて報告、説明。

4 協議事項（プロジェクト・チームメンバーはメンバー表記する。）

1) 課題と対策の検討について

○概要説明

サブリーダーから資料1に基づき、勉強会を踏まえた、志木市における課題及び対策等の検討について説明。

○質疑及び協議

メンバー：1類と2類の線引きが分からない。

サブリーダー：建築物の耐震化に関する法律により、一般的にIs値0.6という耐震性能の基準が定められている。現庁舎の建物を耐震診断結果は、低いところでIs値0.12、0.13という数値が出ている。

東日本大震災を受け、国の重要な施設と同様に、各自治体の庁舎については1.5倍の強さをもつ必要があるのではないかと現在言われている。そのような状況から、数値目標については現在検討されている。庁内検討プロジェクト・チームの報告書についても、数値を示す必要性もある。

メンバー：液状化対策の地盤改良について、勉強会で先生が「前と後に余裕があった方がいい」と言っていたが、その辺りはどのような計画になっているのか。

サブリーダー：資料で示しているものはあくまで地盤面の下の話。敷地いっぱいには建

物は建てられない。先生が言っていたのは、災害時の緊急車両の寄り付きや災害活動ができるようなスペースの確保を目的としている。

メンバー：BCPはいつ作るのか。

大熊生活安全課長：今年度は地域防災計画の見直しを図っている。来年度に、各署の協力を得て志木市としてまとめていく。

サブリーダー：資料に記載するハザードマップは見直し前のもので問題ないか。

大熊生活安全課長：この資料では、ハザードマップは現行のものを使用している。現在見直しているものは地震、水害共に埼玉県ハザードマップを参考としているので、実際のハザードマップと地域防災計画でズレが生じてしまうかもしれない。大きくなる可能性はないが、小さくなる可能性はある。

サブリーダー：ハザードマップは次いつ作るのか。

大熊生活安全課長：作成しようと思えば地震に対するハザードマップは作成可能だが、志木市の方針は、洪水ハザードとセットで作成する。洪水ハザードについては、埼玉県が管理する河川と国が管理する河川があり調整が必要なため、2～3年の時間を要するとのこと。地震については県の被害想定を採用し、地域防災計画に盛り込みたい。

サブリーダー：現段階では現行のハザードマップに基づいて対策をとるという方向で内容を整理する。

メンバー：特に重要な防災拠点とは何を示しているのか。

サブリーダー：防災拠点である庁舎に求められる耐震性能の考え方で災害応急対策活動に必要な施設、避難所として位置づけられた施設として、安全性の分類Ⅱ類（重要度係数1.25）以上として位置づける。

メンバー：耐震性能について市民に説明する機会に、他の避難施設の事例などから把握できればいいのでは。

サブリーダー：総合耐震計画基準を国で作っている関係上避難ということについてはあまり想定していない。どの建物がどのような設定がされているか調べ、周辺情報の整理を今後した方がいいと考えている。

メンバー：地盤改良を行えば、ほぼ液状化がないということになるのか。

サブリーダー：実際に地盤改良した場所が液状化しなかったという検証は現実的にはされてはいないらしい。

建物は、硬い地盤面に打っている支持杭の上に乗っかっている形になっているので傾く恐れはない。現庁舎の屋外駐車場を例にすると、アスファルトが落ちているところと落ちていないところがあると思う。落ちている場所は、杭の上に乗っていない部分で、落ちていない場所は杭の上に乗っている部分。液状化が起きても建物が傾くことはないが、周りの地盤が落ちて段差が生じ、危ないということがあるので、地盤改良

を行い対処する。

メンバー：地階には機械室等の施設を設けないとあるが、現在は地下にある。今度は上に設けるといふことなのか。

サブリーダー：水の流入を防ぐ工夫をするため、機械室については上階に設けたいと考えている。プロジェクト・チームの報告書にも記載をしてある内容。

メンバー：地盤改良は、三十何年前にやったニュータウンと同じと考えればいいのか。

サブメンバー：ニュータウンは地盤改良していない。

サブリーダー：今後とも質問・意見等があれば事務局にて対応する。今回の意見を踏まえてまとめていく。

2) 庁内プロジェクト・チーム作業部会作業シートのとりまとめについて

○概要説明

事務局から資料2の概要と今後のまとめ方、スケジュールについて説明。

○質疑及び協議

リーダー：基本計画を作るにあたり、作業責任者が各部の意見を一つにする。さらに、基本設計、実施設計などの項目に分類分けをする。その中で基本計画に対する意見を市の意見としてまとめていく。

メンバー：作業責任者に今回の資料は渡したほうがいいのか。

リーダー：作業責任者はおそらく同じものを持っている。データもある。

メンバー：各課の意見を見ていると、共感できる意見が多い。

サブリーダー：基本計画で必要なものなのか、設計の段階で必要なものなのか、家具で対応できるのか、運用で対応できるのかという分類分けを行い、市の職員の執務環境への要望をまとめていきたい。設計の中で取り込んだり、備品を買う時に取り込んだり、庁舎管理の中で運用として取り込んでいけたら良いと考えている。

メンバー：例えば、新庁舎の想定面積は現在と同程度だが、考え方によって大きくなるという可能性はあるのか。

サブリーダー：現段階の状況では面積が大きくなる要素はないと把握している。備品などのボリュームが大きくなる可能性が考えられる。

メンバー：基本設計に入る前の段階で概略的な図面は出てくるのか。

サブリーダー：図面が出るのは基本設計段階となる。現在、基本設計・実施設計の設計業者選定は設計プロポーザルを想定。課題を与えて、それに対する答えをもらう。それをたたき台にして、今後どのように作るという具体的な議論をする。

メンバー：図面が出てこないとなら具体的な議論は難しい。

サブリーダー：段階に応じた議論を行い、まとめていく。

メンバー：最終的な基本計画の中に、例えば車の出入りで入り口が危ないといったような内容は盛り込むのか。

サブリーダー：それは「出入りに配慮した動線を確保します。」というように、基本計画に盛り込む。

メンバー：高さ制限も入れるのか。また、複合化の場合、高さは大丈夫なのか。

サブリーダー：今のところ高さ制限内を建物条件と考えている。25メートルの範囲内であれば想定している面積は確保できると考えている。

メンバー：25メートルはどこから測るのか。

サブリーダー：設定した場所から測る。県道の歩道を設定すれば現庁舎の考え方と同じになる。

メンバー：作業シートとりまとめの意見の分類分けの例があると分かりやすい。

サブリーダー：説明会を行い、分かるような資料を提示する。

メンバー：市民検討会の進捗状況を聞きたい。

リーダー：複合化になってからの会議を2回行ったところである。中間答申では、今後は市民会館の機能について検討していくということになっているので、そのような形で進めていく。

メンバー：複合化を前提として進んでいないのか。

リーダー：中間答申に沿って、複合化を前提として進んでいる。用地は現庁舎がある場所。市民会館が一緒になるので市民会館の機能を検討している段階。

リーダー：今後とも質問・意見等があれば事務局にて対応する。

3) その他

サブリーダー：市庁舎の執務空間に対する視察を考えている。そこで、みなさんが参考になりそうな先進事例を知っていたら紹介していただきたい。

メンバー：視察場所は執務空間に限る視察なのか。複合庁舎は関係するのか。

サブリーダー：庁舎プロジェクト・チームについては庁舎機能の検討が主になるので、複合庁舎にこだわる必要はない。

4) 今後の予定について

リーダー：作業シートの取りまとめの時期もあるので、次回の会議の予定は追って連絡する。

5 閉会

野口市民活動推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。